

## 若年認知症専門員の活動報告

平成 28 年 3 月、若年認知症の方と一緒に楽しい場所を作りたいという思いで、NPO法人を立ち上げ、4 月に就労継続支援 B 型、夢工房こぼちゃんを開設しました。

法人の目的は、誰もが生きがいを持って暮らせる地域作りを目指すというのですが、若年認知症の方は体が元気。出来ることが沢山あります。そこで、こぼちゃんでは、一緒に働く中で楽しく過ごせる場所を作ろうということになりました。大切にしていることは、コミュニケーション、一人一人の個性（環境も考慮）、一緒に考えること、主体性、仲間同士の関係、笑顔です。

こうして、就労、地域との連携を余暇活動の中で築くという目標を立てました。スタート時は、なかなか若年認知症の方の理解が得られず、どこまで地域に出したらいいのかと悩みましたが、今では当たり前前に施設外就労をしています。うちの特徴は職員の中に専門職が少ないことです。先入観のない、社会経験の豊かな男性陣と一緒に働いてくれていることで、地域の方の信頼も得ることができ、沢山の仕事を受注出来ています。

今 19～87 歳までの総勢 19 名の内、若年認知症の方は 7 名。えりんぎの袋詰め、電子部品の組立て、農作業補助、公共施設の環境整備等大忙しです。

そんな中でも、お茶、昼食、昼休みの音楽鑑賞（ダンス）、散歩、談話、キャッチボールなど、それぞれが好きな事をしながら楽しい時間を過ごしています。今年も、八東駅祭りや敬老会で七福神を演じました。八東駅での世界アルツハイマーデーではライトアップ、ラン伴の参加、オレンジカフェの準備などに若年認知症の方がお手伝いしています。少しずつではありますが、理解が広がって来ているように感じています。



これからも、若年認知症の方の就労場所と特定するのではなく、こぼちゃんは楽しく皆と一緒に働いている所、その中に若年認知症の方もいるよ、という感覚を忘れないように、継続できたらと思っています。

(第 7 期生 小林かやみ)



(小林かやみさん)

